

## 鎌倉市次世代育成支援に関するニーズ調査（就学前児童用）

アンケートご協力をお願い

皆さまには日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

鎌倉市では、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次世代育成支援のために取り組む具体的な行動計画「鎌倉市次世代育成きらきらプラン」を策定し、子育て支援施策を実施しています。同プランは平成17～21年度を前期計画、22～26年度を後期計画と位置付けていることから、後期計画の策定に向けた同プランの見直しを行います。

この見直しにあたり、市民の皆さまの子育てに関する考え方や生活実態、希望されるサービス内容などをお伺いし、本市が取り組むべき課題を把握するために、このニーズ調査をお願いすることになりました。

この調査は、平成21年2月1日現在の住民基本台帳から就学前のお子さんを無作為に抽出し、保護者の皆さまにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や県や国の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年2月

鎌倉市長 石渡 徳一

### 【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票は、お子さんの保護者の方が記入してください。  
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)
2. ご回答は、選択肢の番号・記号に      をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
3. 質問によって、      をつける数を「2つまで」などと指定している場合は、指定の範囲内で      をつけてください。  
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある(      )内には、具体的な内容を記入してください。
4. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時 18時)で記入してください。
5. 前の設問へのご回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、

**3月17日(火)**までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

鎌倉市こども部こどもみらい課

電 話：0467-23-3000(内線2651)

ファクス：0467-23-8700(代表)

(\*) この調査で「保育サービス」とは、次のものをいいます。

用語	説明
認可保育所	児童福祉法に基づく児童福祉施設基準を満たし、都道府県等の認可を受けた施設のこと、一般的には「保育園」という名称を使っています
家庭的な保育	いわゆる保育ママなどと呼ばれ、保育者の家庭等で子どもを預かるサービスです
事業所内保育施設	企業や病院において、会社、工場、病院などに設置され、事業所の従業員の子どもを預かる保育施設です
認定保育施設	認可は受けていないものの、一定の基準を満たした施設として市町村長が認定した施設です
延長保育	保護者の仕事等の都合により、通常の保育時間を超えて保育を行うサービスです
認定こども園	幼稚園と保育施設が一体化した施設で、就学前の子どもに幼児教育・保育を提供し、地域における子育て支援などの機能も備える施設のことです
その他の保育施設	認可・認定外の保育施設等のこと、例えば企業委託型保育サービスや駅型保育施設、地域の共同保育所、ベビーホテルなどがあります
ベビーシッター	保護者などの自宅に向いて、保護者が不在の間子どもの世話をします
ファミリーサポートセンター	地域住民による会員相互の子どもの預かりサービスで、保護者の病気や介護等の事情での一時保育や、保育園・幼稚園・小学校等への送迎、保育施設の時間外の保育等に利用できます(家事支援も行っていますが、今回の調査では除きます)

【上記以外の用語の説明】

幼稚園： 学校教育法に基づき、幼稚園設置基準を満たす施設として都道府県の認可を受けた施設のこと、多くは満3歳から就学前まで、通常1日4時間の幼児教育を行っています

幼稚園の預かり保育： 幼稚園で、通常の就園時間を延長して預かるサービスです

一時的な託児： 買い物や習い事等、私用を含め、理由を問わずに、ベビーシッター、ファミリーサポートセンター、保育所などでお子さんを一時的に預かるサービスです

宿泊を伴う託児： 家庭で一時的に子どもを養育できなくなった場合などに施設等で預かるショートステイ事業や、私用を含め理由を問わずにその他の保育施設やベビーシッターなどが一時的に宿泊を伴って預かるサービスです

病児保育： 病気で、当面の症状の急変が認められない場合に専用のスペースで一時的に保育するサービスです

病後児保育： 病気回復期にあつて、集団生活が困難なお子さんを専用のスペース等で一時的に保育するサービスです

つどいの広場： 主に乳幼児(0~3歳)を持つ子育て中の親が気軽に集い、親子同士の交流の場を提供するものです

子育て支援センター： 専任の子育てアドバイザーが地域の子育て家庭に対する育児相談や子育てサークルの支援等を行うものです

封筒のあて名のお子さんをご家族のことについておたずねします。

F 1 封筒のあて名のお子さん（以下は、「あて名のお子さん」と言います）の生年月、兄弟姉妹等について記入してください。（兄弟姉妹の数にはあて名のお子さんも含めてください）

平成  年  月生まれ  人兄弟姉妹の  番目

F 2 - 1 あて名のお子さんと同居されている方すべてに をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 父母	2. 父 (ひとり親)	3. 母 (ひとり親)	4. 祖父	5. 祖母	6. その他親族	7. その他
-------	----------------	----------------	-------	-------	----------	--------

続いて、同居している家族全員（ご両親とあて名のお子さんを含む）の人数を記入してください。

家族全員で  人

続いて、同居はしていないが、概ね 30 分以内で行き来できる親族すべてに をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 祖父	2. 祖母	3. その他親族	4. なし
-------	-------	----------	-------

F 2 - 2 この調査に回答してくださっている方に をつけて下さい。（ は1つ）

1. 父親	2. 母親	3. 兄弟姉妹	4. 祖父	5. 祖母	6. その他 ( )
-------	-------	---------	-------	-------	------------

F 3 - 1 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方は、どなたですか。（ は1つ）

1. 主に父親	2. 主に母親	3. 両親でほぼ同じ	4. 主に祖父母	5. その他 ( )
---------	---------	------------	----------	------------

F 3 - 2 祖父母や親族、もしくは友人・知人等による、子育てに対する支え（育児を手伝ってくれることなど）がありますか。あてはまる答えすべてに をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	} F 3 - 3へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	
5. いずれもない	F 4へ

F 3 - 3 前問で「1」から「4」を選ばれた方に伺います。それぞれ、**あてはまる答えすべてに**をつけてください。

「1」又は「2」に つけた方 (祖父母等の親族に預かってもらえる)	「3」又は「4」に つけた方 (友人・知人に預かってもらえる)
1. 特に問題がない	1. 特に問題がない
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他 ( )	5. その他 ( )

F 4 現在お住まいの地域は、次のうち、どれにあたりますか。( **は1つ** )  
(地域の区分はP 2 0をご参照ください)

1. 鎌倉地域	2. 腰越地域
3. 深沢地域	4. 大船地域
5. 玉縄地域	

F 5 現在のお住まいは、次のうち、どれにあたりますか。( **は1つ** )

1. 持家(一戸建)	2. 持家(分譲マンションなどの集合住宅)
3. 民間の借家(一戸建)	4. 民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅)
5. 公団・公社・公営の賃貸住宅・アパート	6. 社宅・公務員住宅などの給与住宅
7. 住み込み・寮・寄宿舎など	8. その他 ( )

F 6 保護者の年収の合計は、次のうち、どれにあたりますか。( **は1つ** )

1. 200万円未満	2. 200～300万円未満	3. 300～400万円未満
4. 400～500万円未満	5. 500～700万円未満	6. 700～1,000万円未満
7. 1,000万円以上		

あて名のお子さんの父親・母親の就労状況についておたずねします。

F 7 - 1 父親・母親の就労の状況を、「1 A」から「5」までの中でそれぞれ1つだけをつけてください。併せて、【 】に数字の記入、もしくは ~ の1つにをお願いします。

( 1 ) 父親 ( 母子家庭は記載不要 )	( 2 ) 母親 ( 父子家庭は記載不要 )
1 A . 常勤 ( フルタイム ) ( 育休 ・ 介護休業は除く ) 1 週あたりの平均の就労時間【       】時間 働いている日の平均帰宅時間【       】時	1 A . 常勤 ( フルタイム ) ( 育休 ・ 介護休業は除く ) 1 週あたりの平均の就労時間【       】時間 働いている日の平均帰宅時間【       】時
1 B . 常勤 ( フルタイム ) だが現在、育休 ・ 介護休業中	1 B . 常勤 ( フルタイム ) だが現在、産休 ・ 育休 ・ 介護休業中
2 . パートタイム、アルバイト等 1 週あたり【       】日 1 日あたり【       】時間 働いている日の平均帰宅時間【       】時 フルタイムへの転換希望がありますか 希望がある 希望はあるが予定はない 希望はない	2 . パートタイム、アルバイト等 1 週あたり【       】日 1 日あたり【       】時間 働いている日の平均帰宅時間【       】時 フルタイムへの転換希望がありますか 希望がある 希望はあるが予定はない 希望はない
3 . 自営業 ・ 家業従事 ・ 自由業 ・ 内職 ・ 在宅就労 就労時間についてお伺いします 1 週あたり【       】日 1 日あたり【       】時間	3 . 自営業 ・ 家業従事 ・ 自由業 ・ 内職 ・ 在宅就労 就労時間についてお伺いします 1 週あたり【       】日 1 日あたり【       】時間
4 . 以前は就労していたが、現在は就労していない 以前の働き方はどちらですか フルタイムによる就労 パートタイム ・ アルバイト等による就労	4 . 以前は就労していたが、現在は就労していない 以前の働き方はどちらですか フルタイムによる就労 パートタイム ・ アルバイト等による就労
5 . これまでに就労したことがない	5 . これまでに就労したことがない

F 7 - 2 前問(2)で母親が「4」「5」を選ばれた方に伺います。

(ア) 就労希望はありますか。( は1つ)

1 . すぐに ( 1 年以内に ) 働きたい
2 . ( 1 年より先 ) 子どもが大きくなったら働きたい あて名のお子さんを含めて一番小さな子が【       】歳になったとき
3 . 子育てに専念したいので、今現在、就労希望はない
4 . もともと就労希望はない

(イ) 就労希望がある方の働き方の希望 ( は1つ)

1 . フルタイムによる就労
2 . パートタイム、アルバイト等による就労 1 週あたり【       】日程度 1 日あたり【       】時間程度

F 7 - 3 へ

F 7 - 3 前問(ア)で「1」「2」を選ばれた方に伺います。就労希望がありながら現在働いていない主な理由は、次のうち、どれにあたりますか。( は1つ)

1 . 保育サービスが利用できない
2 . 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3 . 自分の知識、能力にあう仕事がない
4 . 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5 . その他( )

母親の出産による離職状況について、おたずねします。

F 8 - 1 あて名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に母親は離職をしましたか。( は1つ)

1 . 離職した F 8 - 2 へ	2 . 継続的に働いていた (転職も含む)	3 . 出産1年前にすでに働いていなかった	4 . 分からない
-----------------------	--------------------------	-----------------------	-----------

F 8 - 2 前問で「1」を選ばれた母親の考えは、次のうち、どれにあたりますか。( は1つ)

1 . 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2 . 職場において育児休業制度等の両立支援環境が整っていれば、継続して就労していた
3 . 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4 . 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5 . 育児に専念したいので、いずれにせよ辞めていた
6 . 分からない
7 . その他( )

父親・母親の育児休業制度の利用についておたずねします。

F 9 - 1 あて名のお子さんについて、育児休業制度を利用しましたか。( は1つ)  
 利用した方は、【 】に数字を記入してください。

1. 母親が利用した	復帰したときのお子さんの月齢は、何か月でしたか。 両方が利用した方は、遅くとした方が復帰したときの月齢を記入 【 】か月 *例えば1歳は12か月としてください。	} → F 9 - 2へ
2. 父親が利用した		
3. 両方が利用した		
4. 利用しなかった	→ 次ページ Q 1 - 1へ	

F 9 - 2 育児休業制度を利用した方に伺います。育児休業明けに希望する保育サービスを利用できましたか。( は1つ)

1. 育児休業期間を調整せずにできた	2. 育児休業期間を調整したので保育サービスを利用できた F 9 - 3へ
3. できなかった F 9 - 4へ	4. 希望しなかった

F 9 - 3 前問で「2」を選ばれた方に伺います。育児休業明けに希望する保育サービスが利用できていたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。いずれか1つだけ をつけてください。併せて、「2」または「3」を選ばれた方は、【 】内に数字をご記入ください。

1. 変わらない	2. 長くした 【 】か月	3. 短くした 【 】か月	4. 分からない
----------	---------------	---------------	----------

F 9 - 4 希望する保育サービスを利用できなかった方に伺います。どのように対応されましたか。( は1つ)

1. 希望とは違う認可保育所を利用した	2. 認定保育施設を利用した
3. その他の保育サービスを利用した	4. 祖父母等の親族に預かってもらった
5. 仕事を辞めた	
6. その他 ( )	

ここからは、子育てについてのお考え等についておたずねします。

Q1-1 あなたは、子どもを育てている現在の生活に、満足していますか。( は1つ)

1. 満足している	2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば満足していない
5. 満足していない	

Q1-2 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。( は3つまで)

1. 子どもを持つ喜びが実感できたこと	2. 子どもの成長
3. 子育てを通じ自分も成長できたこと	4. 配偶者との関係がよかったこと
5. 家族間の会話が増えたこと	6. 家庭が明るくなったこと
7. 子育てを通じ友人が増えたこと	8. 自分の親への感謝の念が生まれたこと
9. その他( )	

Q1-3 「子どもを産み育てること」を、今の社会は十分に評価していると思いますか。( は1つ)

1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う	3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない	5. そう思わない	

Q2 あて名のお子さんの子育てにかかる費用は1か月いくら位ですか。おおよその金額を記入してください。

約  万円

Q3-1 あなたにとって理想的な子どもの人数は何人ですか。また、あなたは全部で何人の子どもを持つつもりですか。(「理想的な子どもの人数」「持つつもりの子どもの人数」をそれぞれ記入してください)

理想的な子どもの人数	持つつもりの子どもの人数
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人



Q3 - 2 前問で「持つつもりの子どもの人数」が「理想的な子どもの人数」より少ない方に伺います。その理由はどうしてですか。次のうち、あてはまる理由すべてに をつけ、最大の理由には をつけてください。

1 . 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2 . 家が狭いから
3 . 子どもの預け先などがなく、自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
4 . 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
5 . 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
6 . 高年齢で産むのはいやだから
7 . これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
8 . 健康上の理由から
9 . 欲しいけれどもできないから
10 . 配偶者の家事・育児への協力が得られないから
11 . 配偶者が望まないから
12 . 定年退職までに、一番末の子が成人してほしいから
13 . 保育サービスが充実していないから
14 . その他 ( )

次に、日常の育児に関しておたずねします。

Q4 あて名のお子さんのかかりつけの（病気や発育について相談できる）医者がいますか。

1 . いる	2 . いない
--------	---------

Q5 休日や夜間にお子さん（あて名のお子さんに限りません）が病気になったときに受診できる医療機関を知っていますか。

1 . 知っている	2 . 知らない
-----------	----------

Q6 - 1 子育てでどうしてもいいかわからなくなることがありますか。（は1つ）

1 . よくある	2 . 時々ある
3 . ほとんどない	4 . ない

Q6 - 2 やる気がおこらず、お子さん(あて名のお子さんに限りません)の世話をしたくない時がありますか。  
( は1つ)

1. よくある	2. 時々ある
3. ほとんどない	4. ない

Q6 - 3 自分は、子どもを虐待していると思うことがありますか。( は1つ)

1. よくある	Q6 - 4へ	2. 時々ある	Q6 - 4へ
3. ほとんどない		4. ない	

Q6 - 4 前問で「1」「2」を選ばれた方に伺います。それはどのような時ですか。( は2つまで)

1. 子どもを叩いたり、つねったりする	2. 食事を与えない、お風呂に入れないなど世話をしない
3. 何度でもできるまでやらせるなど厳しくしつける	4. 言葉による脅し、子どもからの働きかけを無視する
5. その他 ( )	

Q7 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。  
( は3つまで)

1. 保護者の不安や悩みの相談	2. 子育てに関する総合的な情報提供
3. 子育て中の保護者同士の仲間づくり	4. 子育てについての講座
5. 子どもの発達や幼児教育のプログラムの提供	6. 子どもを遊ばせる場や機会の提供
7. 保護者のリフレッシュの場や機会の提供	8. 父親の育児参加に関する意識啓発
9. 子どもの病気や障害についての相談	10. 特にない
11. その他 ( )	

次に子どもの教育や保育についておたずねします。(現在、幼稚園や保育所等を利用していない方も、ご回答ください) (幼稚園や保育所等の説明はP2をご覧ください)

Q8 - 1 幼児期の教育について、幼稚園や保育所等に特に何を望みますか。( は2つまで)

1. 人間形成の基礎を培う	2. 社会性の育成(友だちづくり、集団のルール等)
3. 基本的な生活習慣の確立	4. 幼児期に必要な体験
5. 運動能力や体力の向上	6. その他 ( )

Q8 - 2 お子さん（あて名のお子さんに限りません）が満3歳になった時点で、年度途中でも幼稚園に入園できる制度を導入している幼稚園もありますが、この制度の利用について、どのように思いますか。

（は1つ）

1. 利用したい（利用したかった）
2. 利用したいとは思わない（可能でも利用しなかったと思う）
3. 幼稚園を利用する予定はない（これまでも利用してこなかった）
4. その他（ ）

Q8 - 3 預かり保育を実施している幼稚園もありますが、その制度を知っていますか。  
（幼稚園の預かり保育の説明はP2をご覧ください）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

Q8 - 4 幼稚園の預かり保育について、どのようにお考えですか。次のうち、あてはまるものすべてにをつけてください。

1. 正規の開園時刻前の預かり保育をしてほしい	<input type="checkbox"/>	時ころから
2. 正規の開園時刻後の預かり保育をしてほしい	<input type="checkbox"/>	時ころまで
3. 土曜日も預かってほしい	4. 日曜日や祝日も預かってほしい	
5. 夏休みなど長期休暇中も預かってほしい	6. 預かり保育を実施することは望ましくない	
7. その他（ ）		







Q11 あて名のお子さんは、現在、つどいの広場や子育て支援センターを利用していますか。1か2のどちらかに をつけ、併せて「1.いる」方は利用回数や利用している施設を、「2.いない」方はその主な理由をお答えください。  
(つどいの広場や子育て支援センターの説明はP2をご覧ください)

<p>1.いる 1週あたり【 】回 もしくは1月あたり【 】回</p>	<p>2.いない</p>
<p>利用している施設はどれですか (あてはまるものすべてに )</p> <p>1.腰越地域つどいの広場(七里ガ浜子ども会館)</p> <p>2.玉縄地域つどいの広場(玉縄子ども会館)</p> <p>3.玉縄地域つどいの広場(植木子ども会館)</p> <p>4.鎌倉子育て支援センター</p> <p>5.深沢子育て支援センター</p> <p>6.大船子育て支援センター</p>	<p>利用していない主な理由は何ですか ( は1つ)</p> <p>1.必要性がないから</p> <p>2.近くにないから</p> <p>3.サービスの質に不安があるから</p> <p>4.利用方法が分からないから</p> <p>5.知らなかったから</p> <p>6.時間がないから</p> <p>7.その他( )</p>

Q12 この1年間に、私用(買物、習い事、会合等)、冠婚葬祭、保護者・家族の病気や通院などで、あて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがありますか。(泊まりは除く)

1.あった	年間約 日	理由別 日数	【 】日 私用(買物・習い事等)・リフレッシュ目的
	<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>		【 】日 冠婚葬祭、保護者・家族の病気
			【 】日 一時的な就労や一時的な勤務時間の変更
2.なかった			

具体的な対処方法とそれぞれのおおよその日数について伺います。

1.親族・知人に預けた日数	約	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	日
↓			
その難しさは?	ア 非常に困難	イ どちらかという困難	ウ 特に困難ではない
2.一時的な託児を利用した日数	約	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	日
3.その他( )	約	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/>	日

(「一時的な託児」の説明はP2をご覧ください)









Q16-1 子育て中の家庭での父親不在（父親が、子育てにあまりかかわらない、かかわる時間がないこと）が問題となっていますが、このことについてどう思いますか。（は1つ）

1. 社会的にも問題だし、わが家でも問題である
2. 社会的には問題だが、わが家にはあてはまらないと思う
3. 子育ては母親が中心となればよいので、あまり大きな問題ではないと思う
4. その他（ ）

Q16-2 父親が子育てにかかわりづらいのは、どうしてだと思いますか。（は2つまで）

1. 残業などが多く、仕事を優先せざるをえないこと
2. 通勤時間が長いこと
3. 子どもや家庭のことで休みをとることに職場の理解を得にくいこと
4. 父親として具体的に何をすべきがよく分からないこと
5. 男性が育児にかかわることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること
6. 男性が育児にかかわることを特別視する風潮が世間にあること
7. その他（ ）

Q17 安心して子どもを産み、健やかに育てていくための国・県・市の取組みや、社会の制度のあり方、あなたにとっての理想の子育てなど、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、

**3月17日(火)**までにご投函ください。

【地域区分表】

鎌倉地域	十二所、浄明寺一丁目～浄明寺六丁目、二階堂、西御門一丁目、西御門二丁目、雪ノ下一丁目～雪ノ下五丁目、雪ノ下、扇ガ谷一丁目～扇ガ谷四丁目、小町一丁目～小町三丁目、大町一丁目～大町七丁目、材木座一丁目～材木座六丁目、由比ガ浜一丁目～由比ガ浜四丁目、御成町、笹目町、佐助一丁目、佐助二丁目、長谷一丁目～長谷五丁目、坂ノ下、極楽寺一丁目～極楽寺四丁目、稲村ガ崎一丁目～稲村ガ崎五丁目
腰越地域	腰越一丁目～腰越五丁目、西鎌倉一丁目～西鎌倉四丁目、津西一丁目、津西二丁目、腰越、津、七里ガ浜東一丁目～七里ガ浜東五丁目、七里ガ浜一丁目、七里ガ浜二丁目
深沢地域	梶原一丁目～梶原五丁目、梶原、寺分一丁目～寺分三丁目、寺分、山崎、上町屋、手広一丁目～手広六丁目、手広、笛田一丁目～笛田六丁目、笛田、常盤、鎌倉山一丁目～鎌倉山四丁目
大船地域	山ノ内、台二丁目～台五丁目、台、小袋谷一丁目、小袋谷二丁目、小袋谷、大船一丁目～大船六丁目、大船、高野、岩瀬一丁目、岩瀬、今泉一丁目～今泉五丁目、今泉台一丁目～今泉台七丁目
玉縄地域	台一丁目、岡本一丁目、岡本二丁目、岡本、玉縄一丁目～玉縄五丁目、植木、城廻、関谷